



平成22年度 第24回

静岡県立大学公開講座

受講者募集



◎ テ ー マ

- ・ 中 部 会 場 『薬食同源』 <薬学部> (4回連続講座)
- ・ 県立大学会場 『科学で「食」を体感しよう!』 (実習) <食品栄養科学部> (各回募集)
- ・ 東 部 会 場 『生命と環境』 <環境科学研究所> (4回連続講座)
- ・ 短期大学部会場 『生活を科学する 水・油・なかをとりのつ界面活性剤』 (実習) (各回募集)

◎ 開 講 時 期 平成22年10月～11月

◎ 受 講 対 象 者 15歳以上の県民

◎ 会場毎に、受講回数・申込方法・申込先・受付期間、費用等が異なります。
詳しい内容は次のページを御覧ください。

《しずおか県民カレッジ連携講座》

中部会場

【静岡県共催】

「薬食同源」(4回連続講座)

10月 2日(土) 午前10時~正午

「正しい食事で長生きしよう！」

薬学部 教授 森本 達也

「腹7分目は長寿の秘訣」「長寿県沖縄の危機」「クルクミンは万能なサプリメント」など、科学的根拠のあるデータから健康的な食事について解説します。



10月 9日(土) 午前10時~正午

「有機合成の力と技で

食品有効成分の謎に挑む」

薬学部 教授 菅 敏幸

緑茶は、インフルエンザ、がん、糖尿病などの疾患への有効性からも、百薬の長として注目されている。本講座では、有機合成による有効性の解明について解説します。



10月16日(土) 午前10時~正午

「くすりと食事・嗜好品の

上手なつきあい方」

薬学部 教授 伊藤 邦彦

毎日の食事や酒・タバコをはじめとする嗜好品、さらにはサプリメントなどが「くすり」の効き方に影響するという現象について具体的な例をあげながら解説します。



10月23日(土) 午前10時~正午

「ミカンの果皮は役に立つ」

薬学部 教授 野口 博司

ミカンは実を食べて、その皮は捨てるものと思われてきました。最近どうもそこに含まれている成分が認知症に効くらしいという、薬食同源を地で行くお話をします。



<会場> アイセル21 静岡市葵生涯学習センター
3階31集会室

(静岡市葵区東草深町3-18)

<募集人員> 80人

<開催回数> 4回連続講座

<費用> 2,000円(全4回、資料代等)

<申込方法>

9月15日(水) 締切(必着) 申込み多数の場合抽選

往復ハガキで、「市民大学セミナー(県立大学公開講座 中部会場)希望」、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を記入の上、下記申込み先あてお申し込みください。

<申込み先>

〒420-8602

静岡市葵区追手町5番1号

静岡市生涯学習推進課

電話 054(221)1207

<問合せ先>

右記の静岡県立大学公開講座担当まで

県立大学会場(静岡市谷田)

「科学で「食」を体感しよう！」

① 10月 2日(土) 午後2時~5時

「食品中に存在する各種化学物質」(実習)

食品栄養科学部 准教授 増田 修一

日常食品中のいろいろな化学物質について、生成機構やヒトへの影響を学んでいただきます。また、実際の食品に添加されている着色料を、実験器具を用いて調べます。



② 10月 9日(土) 午後2時~5時

「茶の渋み」(実習)

食品栄養科学部 助教 石井 剛志

緑茶のカテキン類は高い機能性を持つものの、渋味が強く大量摂取が難しい物質です。私たちにとって身近な飲料である茶の渋味とその抑制技術について紹介します。



③ 10月16日(土) 午後2時~5時

「食品に含まれる成分を調べる」(実習)

食品栄養科学部 助教 伊藤 創平

食品に含まれる栄養素やエネルギーは、どのように調べるのでしょうか? 脂質、塩分、水分の測定を行い、食品に対する理解を深めていただけたら幸いです。



④ 10月23日(土) 午後2時~5時

「ポリフェノールの抗酸化性」(実習)

食品栄養科学部 准教授 熊澤 茂則

ポリフェノールを多く含む食品である茶や果物などについて、それらの抗酸化力を調べ、食品の機能性の一つである抗酸化性について学んでいただきます。



<会場> 県立大学

食品栄養科学部棟 講義室・実験室

①・④回5216室・5212室

②回5216室・5214室、③回5414室
(静岡市駿河区谷田52-1)

<募集人員> 各回 20人

<開催回数> 4回(各回別に募集)

<費用> 1回分1,000円(実習実費・資料代等)

<申込方法>

9月15日(水) 締切(必着) 申込み多数の場合抽選

往復ハガキ、FAX、Eメール又はホームページ上で、「県立大学公開講座 県立大学会場希望」、希望回(①~④の内から希望回を明記。複数回の希望可。)、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を記入の上、下記あてお申し込みください。

大学構内駐車場を利用希望の場合は、「駐車場利用希望(車両登録番号)」も併せて記入してください。

<申込み及び問合せ先>

〒422-8526

静岡市駿河区谷田52-1

静岡県立大学 公開講座担当

電話 054(264)5106

FAX 054(264)5099

Eメール kouza2010@u-shizuoka-ken.ac.jp

ホームページ <http://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/>

東 部 会 場

【沼津市教育委員会後援】

「生命と環境」(4回連続講座)

10月30日(土) 午後2時～4時

「性は面白い」

環境科学研究所 教授 小林 亨
脊椎動物の生殖は雌雄性による有性生殖です。ここでは、性決定の多様な機構について概説するとともに、魚類でみられる性的可塑性について紹介します。



11月13日(土) 午後2時～4時

「身近な感染症」

環境科学研究所 助教 内藤 博敬
新型インフルエンザや口蹄疫といった、私達の身近な環境に潜み、直接あるいは間接的に生命を脅かす感染症やその原因となる微生物について考えてみませんか。



11月20日(土) 午後2時～4時

「船舶バラスト水による生態系破壊と対策技術」

環境科学研究所 助教 関川 貴寛
船舶バラスト水由来の外来種による生態系破壊は世界規模での問題になっていますが、同時にそこから生まれるバラスト水処理装置の巨大市場について解説します。



11月27日(土) 午後2時～4時

「水分野の国際協力のあり方を考える —バングラデシュの地下水砒素 汚染対策の事例から—」

環境科学研究所 教授 国包 章一
地下水の砒素汚染で深刻な健康被害が生じているバングラデシュの事例を取り上げて、これからのより持続性の高い効果的な水分野の国際援助のあり方を考えます。



<会 場> 沼津労政会館 3階ホール
(沼津市高島本町1-3)

<募集人員> 120人

<開催回数> 4回連続講座

<費 用> 2,000円(全4回、資料代等)

<申込方法>

9月1日から先着順 募集人員に達し次第締切

往復ハガキ、FAX、Eメール又はホームページ上で、「県立大学公開講座 東部会場希望」、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を記入の上、下記あてお申し込みください。

<申込み及び問合せ先>

〒422-8526

静岡市駿河区谷田52-1

静岡県立大学 公開講座担当

電話 054(264)5106

FAX 054(264)5099

Eメール kouza2010@u-shizuoka-ken.ac.jp

ホームページ http://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/

短期大学部会場(静岡市小鹿)

「生活を科学する 水・油・なかをとりもつ界面活性剤」

① 10月30日(土) 午後1時～3時

「水・油・界面活性剤」(演示実験を含む)
短期大学部 教授 原田 茂治
水と油はなぜ混ざり合わないのでしょうか。界面活性剤を加えるとなぜ混ざり合うようになるのでしょうか。その秘密を探ってみましょう。



② 11月 6日(土) 午後1時～3時

「マヨネーズを作る」(実習)
短期大学部 講師 内藤 初枝
水と油!!は犬猿の仲? いえいえそうとばかりは言えませんよ。仲を取り持つ“界面活性剤の威力”を、マヨネーズ作りを通して、この目で確かめてみましょう!



③ 11月13日(土) 午後1時～3時

「石けんを作る」(実習)
短期大学部 講師 野嶋 秀子
16世紀に日本に初めて入ってきた石けんは下剤などの薬用に用いられました。軟水の国、日本では石けんは非常に有益です。さあ、石けんを作りましょう。



④ 11月20日(土) 午後1時～3時

「バターを作る」(実習)
短期大学部 講師 那須 恵子
生クリームを振るだけで、おいしいバターのできあがり。乳脂肪が固まる不思議な原理を理解して、バター作りに挑戦してみませんか。



<会 場> 短期大学部

①・③回 155生物・化学実験室

②・④回 152調理栄養実習室

(静岡市駿河区小鹿2-2-1)

<募集人員> ① 72人、②～④ 各回 24人

<開催回数> 4回(各回別に募集)

<費 用> 無 料

<申込方法>

9月30日(木)締切(消印有効) 申込み多数の場合抽選

往復ハガキ又はFAXで、「短期大学部公開講座希望」、希望回(必修の「①」と「②～④」の内から希望回を明記。複数回の希望可。)、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を記入の上、下記あてお申し込みください。

②～④の受講希望者は必ず①を受講してください。①のみの受講も可能ですが、②～④の受講希望者を優先し、人数によりお断りする場合があります。

<申込み及び問合せ先>

〒422-8021

静岡市駿河区小鹿2丁目2-1

静岡県立大学短期大学部 公開講座担当

電話 054(202)2610

FAX 054(202)2612

※ 注意事項

- (1) 会場毎に、受講回数・申込方法・受付期間等が異なりますので、御注意ください。
- (2) 受付期限を設定している会場において、受付締切日に募集人員に達しない場合は、以後、先着順とし、募集人員に達するまで募集を延長する場合があります。(本学ホームページで御確認ください。)
- (3) お一人で複数の会場を希望される場合は、希望会場ごとにお申し込みください。
- (4) 受講者には受講者票をお送りします。
なお、抽選により外れた場合又は先着順の講座で募集人員に達した場合は、その旨連絡します。
- (5) 費用(資料代等、実習実費)の納入方法は、受講者確定後連絡します。
- (6) 開催当日の天候(暴風警報)、交通機関の不通、講師の病気、その他やむを得ない事情により、講座を中止又は延期する場合があります。
- (7) お申し込み頂いた個人情報、適切な方法で管理し、今年度の公開講座に使用する他、来年度以降の公開講座及びその他の本学主催の一般県民向け講座の御案内に使用する場合があります。

会場案内図

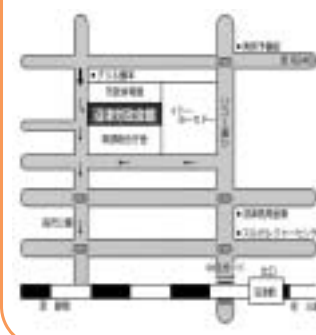
中部会場



県立大学会場



東部会場



短期大学部会場



※ 交通の御案内

中部会場	JR静岡駅北口⑧番のりばから県立病院高松線(県立総合病院行)「アイセル21」下車、駿府浪漫バス「中央公民館前」下車
県立大学会場	JR草薙駅、静鉄草薙駅・県立美術館前駅から徒歩15分、JR草薙駅からしずてつバス三保草薙線草薙団地行きに乗車「県立大学入口」下車、徒歩3分
沼津会場	JR沼津駅北口から徒歩12分
短期大学部会場	JR静岡駅北口⑩番乗場からしずてつバス美和大谷線(大谷方面行)又は小鹿線に乗車「小鹿局前」下車(所要15分)

※ 駐車場について

各会場とも、付設の駐車場の利用(無料)が可能ですが、スペースに限りがありますので、なるべく公共交通機関を御利用ください。

県立大学会場の大学構内駐車場を利用希望の場合は、事前申込が必要です(前記、申込方法参照)。